

●キタキチョウ チョウ目 シロチョウ科 キチョウ属

鮮やかな黄色の小型の蝶々で、シロチョウ仲間です。以前は、日本にいるこの種類を”黄色い蝶”で「キチョウ」としていたのですが、蝶の研究者さんたちが詳しく調べると、2種類いることがわかり、本州などにいる



ものを「キタキチョウ」南西諸島など南にいるものを「キチョウ（通称ミナミキチョウ）」としたそうです。外見などから識別するのは難しいそうです。清瀬にいるのはキタキチョウですね。これと似た蝶に「モンキチョウ」がいます。翅の真ん中に、名前の由来となる丸い模様（紋（もん））があるので区別できます。同じように紋があり白いは「モンシロチョウ」ですね。



●ヤマトシジミ チョウ目 シジミチョウ科 キチョウ属



夏型



春型

以前にも紹介したヤマトシジミですが、今回は、春・秋型（低温期型）でしたが、この写真の個体は夏型（高温期型）です。春型に比べて、翅の縁取りの黒い部分が太く、光沢のある青が鮮やかです。春・秋型は光沢のある水色ですね。随分と涼しくなってきたので、そろそろ夏型はいなくなりそうです。カタバミに産卵にきたようですので、ヤマトシジミは幼虫で冬を越すそうですので探してみてください。

●ホタルガ チョウ目 マダラガ科

頭が赤く、黒い翅に白い帯が目立つので、見分見分けやすい小型のガです。昼間にもよく飛びまわる種類です。

ホタルガ



セスジスズメ幼虫？



●セスジスズメ チョウ目 スズメガ科

学校に向かう途中の道路のアスファルトの上歩くイモムシを見つけました。右側の小さい方が頭で、お尻にアンテナを立てています。そして体の黄色と赤色の模様が鮮やかでした。何の幼虫かネット図鑑で調べてみると、たぶんセスジスズメというスズメガの仲間だと思います。

【?】「チョウ」と「ガ」の違いとはなんでしょう？

蝶というと綺麗なイメージで、蛾というと夜に飛び回り、地味な模様で、嫌いな人も多いと思います。しかし中には綺麗な姿をしている種類もありますし、また昼間活動する蛾もいます。ではいったいその違いは何でしょうか？ 考えて、調べてみましょう！

【関連動画】NHK

①2 時間目 モンシロチョウ [香川照之の昆虫すごいぜ!] 30:00

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005490002_00000

②チョウ 美しいはねの秘密 [ミクロワールド] 5:00

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005100072_00000

①



②

